

経営比較分析表（令和元年度決算）

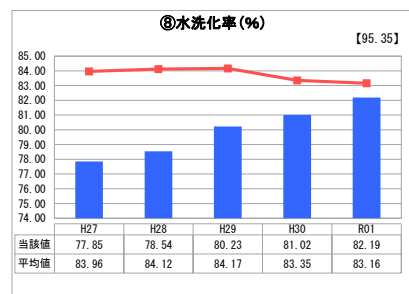
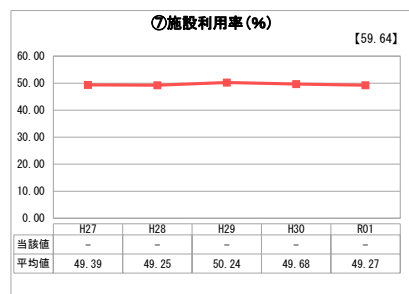
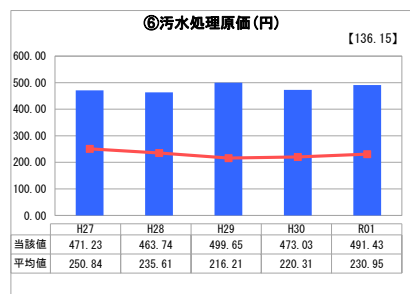
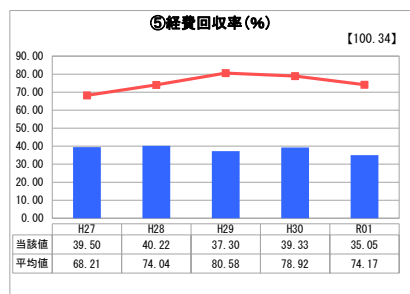
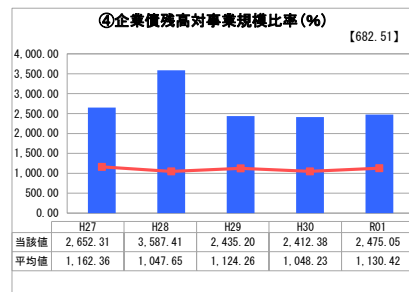
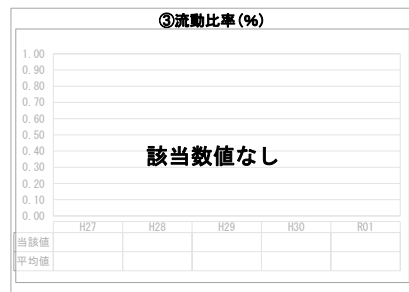
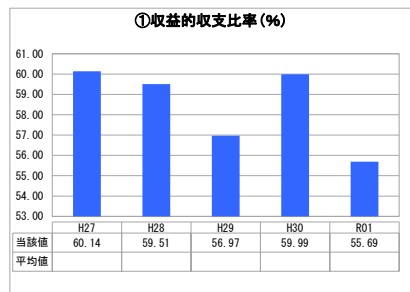
岩手県 平泉町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	38.03	95.70	3,456

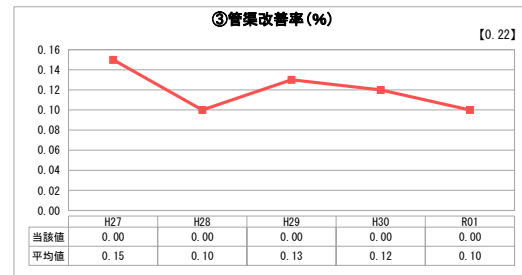
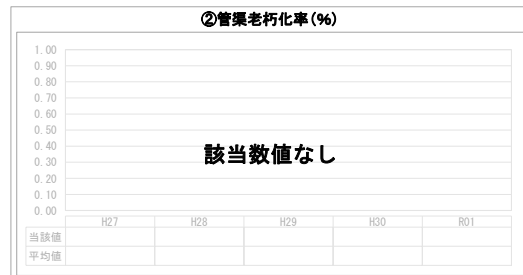
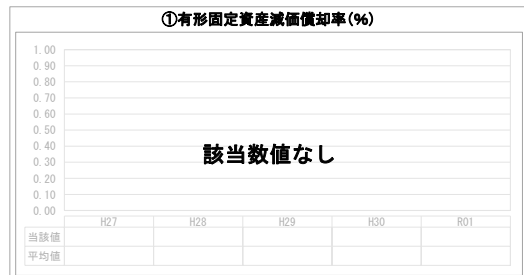
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,485	63.39	118.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,819	1.85	1,523.78

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率
100%を割り込んで推移しておりますが、使用料以外の収入に依存していることによるものです。
 - 企業債残高対事業規模比率
平均値より高い状況で推移しておりますが、企業債の規模が収入に見合っていないことによるものです。
 - 経費回収率
平均値より低い数値で推移しておりますが、汚水処理に係る経費が使用料以外の収入により賄われていることによるものです。
 - 汚水処理原価
平均値より高い数値で推移しておりますが、汚水処理に係る経費が高いことによるものです。
 - 水洗化率
平均値より低い数値で推移しておりますが、増加傾向にあります。
- 以上のことから、類似団体と比較して厳しい経営状況にあります。

2. 老朽化の状況について

- 管渠改善率
平成7年に供用を開始し、約20年が経過しますが、管渠の耐用年数である50年の範囲内であり、現状では更新等が必要な管渠はありません。

全体総括

厳しい財政状況にあるなか、今後は整備されたストックを支える管理費用や改善更新への投資の増加、将来的な人口減少による使用料収入の減少等が見込まれます。

令和2年度から公営企業会計(法適)移行したことから、より詳細な経営内容を分析し、快適な生活を支える下水道サービスを持続的・安定的に提供するために、業務の効率化とコスト縮減に取り組みます。

効率的な事業運営に向けて、近隣他団体と広域化・共同化について検討して参ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。